

ぼくのノオト

③⑤ 肌の色ってどんな色

保育園で「みにくいアヒルの子」を読み聞かせてもらった時、周りの友達からじろじろ見られた。親の似顔絵を描いた時、涙ながらに茶色のクレヨンで顔を染めた。楽天イーグルス・オコエ選手のつらい思い出だ。

「外国にも肌色ってあるの?」。そんな質問を投げかけてきた中学生がいる。肌の色は一つではないし、黒、白、黄色の三色に分けるのも強引だ。ピープルカラーという二十四色のクレヨンもあるが、心の色が一人一人違うように、「肌色」も人の数だけあるはず。

そもそも肌の色は、見る人によっても違ってくるし、「黄色人」といっても、そのバリエーションは多彩だ。

差別を生みかねないとして、日本のクレヨンは、かつての「肌色」から「ペールオレンジ」や「うすだいだい」などに変えた。隠すことで問題の解決にはならないし、肌の色も変わらないが、心の色はきっと変えられる。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操